

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成 28 年 10 月 14 日（金）午後 6 時 30 分～8 時 15 分

【会 場】瑞穂コミュニティセンター

【対象地域】瑞穂町、花園町、錦町、新光町、住吉町、東雲町

【出席者】23 人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	<p>今回の台風で被災した南富良野町でボランティア活動を行い、住民の生の声を聞き、自分の身は自分で守らなければならないと感じた。町内会などの判断で避難した人もおり、富良野市においてもこういった災害を教訓に考えていくことが必要だと思う。</p>	<p>【総務部長】災害が大きくなるほど、自分の身は自分で守るという「自助」が重要であり、東日本大震災においては近所同士など声かけにより助かっている。富良野市においては安全・安心メールの登録をみなさんをお願いしており、このメールから正確な情報を得るようにしていただきたい。東部地域においては、北 1 号川をはじめ、ヌッカクシ川・ベベルイ川があり、災害に備えて自主防災組織を立ち上げるなど、市としても協力していくので、まずは地域でできることから始めていただきたい。</p>
建設水道部	<p>今回の台風で北 1 号川やベベルイ川の様子を見ていたが、北 1 号川からベベルイ川に流れる樋門が閉じていたことにより新光町の一部が冠水し、消防のポンプ車が来ていたようだが、水害時用のポンプは設置できないのか。</p>	<p>【建設水道部長】今回の台風においてはあちこちで災害が起きており、ポンプなどの手配に手間取っていた経過がある。冠水している場所には消防のポンプ車を配置し対応している。ポンプ設備は高額なため、配置にはある程度の期間が必要となるが、今回の反省を踏まえ、北 1 号川をはじめ、無頭川などの主要な樋門にポンプや発電機を配置できるよう計画的に購入などの整備を行っていきたい。</p>
教育委員会	<p>東大富良野演習林を地域のふれあいサロンでも活用できるよう手続きなどを簡単にすることはできないか。</p>	<p>【教育長】東大演習林とは今年の 1 月に教育における「交流に関する協定」を結んでおり、東大演習林をはじめ旭川の教育大学と市が連携し、市内小中学校で演習林を活用した森林学習プログラムを進めているが、今後は成人教育として一般の方については広く開放していただけるよう安全対策なども含め、東大演習林と協議をしていきたい。</p>

<p>経済部</p>	<p>ハイランドふらのの遊歩道を散策したとき、かなり汚れている状況が見られたので、もう少し環境整備できないか。</p>	<p>【経済部長】遊歩道を中心に年1回環境整備を行っているが、秋が近づくと枯葉などで汚れてしまうので、今後環境整備の回数を増やして対応していきたい。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>11年間暮らしているが、北1号川が2回くらいあふれそうになったと記憶している。雨水の排水が追いつかず、場所によっては床下浸水している状況もあった。川底の草などの処理がまったく行われていないのではないか。</p>	<p>【市長】今回の台風では、富良野市においても被害が多く、1番の課題は川を毎年浚渫していないために、川底が上がっている状況になっていると考える。今回の経験を踏まえ、沿線の町村首長とともに10月28日に国や北海道に対して浚渫などを要望していく。すでに空知川の一部と北海道河川において整備が始まっている箇所もあるが、樋門などにポンプ設備などを計画的に配置していきたい。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>北1号川とベベルイ川がつながる樋門には排水設備を設置する敷地がある。ポンプ小屋を設置してはどうか。</p>	<p>【市長】ポンプ小屋を設置しないようにするために、これまで河川改修が行われてきた可能性があるため、担当部署で経過を調べて対応する。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>市道錦町8丁目1は地域の要望により改修していただいたが、半分はまだ未整備状態となっている。未整備部分はいつ施工するのか。</p>	<p>【建設水道部長】全体の整備計画や他の要望や市街地の舗装などもあり、できるだけ早く整備できるよう検討する。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>空知川は旧国道の橋があるため川底を掘削できないと聞いている。もし、橋の撤去などができればポンプアップするようなことは無くなるのではないか。</p>	<p>【市長】一部分の川底を下げるだけでは効果はないと考える。取水の関係などさまざまな課題を踏まえ、北海道河川の浚渫以降に空知川の整備していく方向で進めていくことになる。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>東大演習林の一般公開のときに申し込んだが、すでに定員を満たしていたので、もっと開放できないか。</p>	<p>【市長】東大演習林は学術・観光的にも貴重な場所であり、現在は教育における開放に取り組んでいるが、演習林内を案内するガイドが少ない状況もあり、一般の市民に対しては入場できる人数</p>

<p>総務部</p>	<p>市の出前講座できのこに関する教室はできないか。</p>	<p>を限定している。今後はガイド増やしていき、2、3年後には多くの市民が見学できる状況を作っていきたい。</p> <p>【市長】市全体において広く要望のある出前講座については必要であるが、個人の趣味まで行政は対応ができない。例えば、教育の中での学習やことぶき大学の授業において検討することはできる。</p>
<p>総務部</p>	<p>子育ての環境整備による少子化対策は理解するが、まずは職場における非正規職員の解消が必要だと思う。これが解消されない限り若い夫婦の子育ては難しいと思う。雇用や正規職員を増やす対策が必要だと思うが。</p>	<p>【市長】非正規職員の課題については深刻な状況であり、富良野市ばかりでなく、どのように非正規職員を救っていくのか国会でも議論されているがなかなか進んでいない。富良野市においては、企業を通じて非正規職員の実態などのアンケート調査を実施している。その結果に応じて、職員の住宅費の助成など企業を通じて側面的な支援が必要であると考えている。若い人たちにとってどのような支援が良いのかということも、今後検討するとともに、企業に対しても相談していきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>観光シーズンには季節労働者も必要である。人口減少対策は企業を誘致するしかないのでは。コールセンターなど富良野市でもできる企業はあると思う。</p>	<p>【市長】企業誘致は全市町村において課題となっている。富良野市は内陸であり、企業誘致は港があるまちに集中している状況がある。観光関連ではホテル建設の話もあるが、実現すれば若い人たちの正規職員としての雇用も増えていくと考える。</p>
<p>総務部</p>	<p>空知川が決壊したらどうなるのか。市民は浸水を示す看板を知らないのではないか。</p>	<p>【市長】金山ダムが決壊しない限り、空知川が決壊することはないと考える。そうならないように整備などを行っている。</p> <p>【総務部長】看板の設置場所などについては、全世帯に配っているハザードマップに掲載しており、災害に関してさまざまな疑問点などについては、市と地域で話し合っていきたい。</p>